

地域密着型サービス評価の自己評価票

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	今年で開設から8年目になり、住みなれた地域社会の中で、安心してその人らしく生活できるような運営方針を独自で作っています。	
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	運営理念は、全職員が見る事ができる所に掲示しています。また、新規採用の時に、運営理念についての説明を行っています。	
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	開設時に、民生委員の集まりにて当施設についての説明やご協力頂きたい事等の話をさせて頂きました。また、実際に施設を見てもらい、ご理解頂きました。現在でもその当時の民生委員の方に運営推進会議に出席して頂いています。	
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	苑内に庭があるので、庭掃除をしている時に近隣の方にお会いした際は、挨拶をしたり、回覧板が回ってきた時は隣家に回しています。近所に町内会長が住んでおられるので、町内行事の案内などを連絡して頂いています。	
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	入居者の方が町内会に入っており、町内会費の支払いや廃品回収への参加をしています。また、校区内の小学校で開催される夏祭りにも毎年参加しています。	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	近隣の中学生の職場体験学習の受け入れや、看護学生やヘルパー2級受講者、認知症実践者研修等実習の受け入れをしており、地域の方々と高齢者について学べる機会がもてるように努めています。		
3.理念を实践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	年に1度の外部評価を機に職員や運営者と共に、改善に取り組んでいます。		
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、話し合いの場を設ける事もありますが、もっと施設を知って頂く為、行事にもお誘いしています。		9月に行う推進会議にて実際避難訓練を行う予定なので、次回7月の会議では避難訓練の話し合い(どのように地域の方と連携が取れるか?)を行う予定です。
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者らと運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	福岡市が「社会福祉法人ふくおか福祉サービス協会」に委託している、認知症介護実践者研修において実施されている施設実習の受け入れをし、共に学ぶ機会になっています。		ふれあい会全体で月に一回内部研修を行っていますが、先日6月13日に福岡市保健福祉局保護課の方を招いて、市が行っている「出前講座」を受けさせていただきました。
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	実際に成年後見人制度を利用されている方がおり、その方への必要な支援に関しては、全職員に伝達しています。また、他のご家族に対しても、ご説明し必要とされた際には支援させていただきます。		
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待等はありませんが、虐待が見過されることがないように、虐待に関する研修がありお1人お1人への対応を振り返ることをしました。また、発見した際にはお互いに注意し合えるようにチームの連携を図っています。		施設長会議時に高齢者虐待防止についての話し合いを行ったりしています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4.理念を实践するための体制				
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだし解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居契約時には、利用者をご家族に同席して頂き、契約書の内容を1つずつ説明させて頂き、不明な点があればその都度お答えしております。また、その時に内容に関してご理解頂けたかの確認も必ず行っています。</p>		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>常に利用者の表情や行動・状態を観察を行ったり また、会話の中で意見や不満が出た時は、解消できるように職員間で話し合いをしながら運営に反映させています。</p>		
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>ご家族には、月に1回「ふれあい通信」を送っており、その中で日々の生活状況や健康状態をお伝えしています。金銭管理に関しても、毎月ご家族に報告しています。各入居者に対して担当の職員をつけているので、変化があった場合等は「ふれあい通信」や面会時にお伝えしています。</p>		
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>入居契約時に、必ず公的機関の苦情係の連絡先を伝えていきます。また、運営推進会議を開催しているため、その中で話をする機会を設けたり、ご家族が面会に来られた時にお伺いする事もあります。意見を頂いた時は、職員間で話し合いをしています。</p>		
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>月に1回のミーティングを開催しており、参加できない場合は、事前に意見や提案がないかを聞いています。ミーティングの中で、皆に意見を出してもらいながら今後の支援方法などに反映させています。また、年に2回個人面談を本部職員と行い、意見、要望、提案をする機会を設けています。</p>		
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>長く生活されている利用者が多いので、生活のリズムを把握し、それに合わせたシフト体制が出来ています。</p>		
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>本部と話し合いながら、離職がないように努めています。また、他の地域でもグループホームを運営しており、時折本人のスキルアップも兼ねて異動もあつきます。その際は利用者への影響等も考慮し、お一人ずつに説明をし、職員同士でフォローしています。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5.人材の育成と支援				
19	<p>人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している</p>	<p>職員の募集、採用に関して性別、年齢などで採用対象から排除される事はありません。個々の能力を活かしながら勤務できるように努めています。</p>		
20	<p>人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる</p>	<p>ミーティングの中で、人権尊重についての話も行っています。又「その人らしさ」を大切にしている為、常に1人1人の思いを尊重し、利用者を第一に考えていけるよう取り組んでいます。</p>		
21	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>内部研修や各担当者会議を行っており、関連会社などをお招きし、講習会を開催しております。参加した職員は施設ミーティングの場で講習内容の発表を行っています。新人職員に対しては、(プリセプター)が1名付き業務指導や良き相談相手となりアドバイスを行っています。</p>		<p>現在、ケアプランの勉強会や介護福祉士 介護支援専門員の資格取得に向けた勉強会も行っております。</p>
22	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>認知症実践者研修の実習受け入れを行っており、その際他施設の方との情報交換や意見交換をしています。</p>		
23	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>当施設は、2階建てとなっておりますが、入居者の居室は全て1階の為、職員は2階で休憩して心身を休めています。</p>		
24	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>本部も全職員の勤務状況を把握できており、定期的に苑に來られています。また、各自が個人目標を立て、それを達成できるように努めています。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1.相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
25	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>体験入居前に、その方のご自宅や入所施設先等に伺い、その際ご本人とお話をして要望などを聞く事により、事前に情報を知る事で信頼関係が築いていけるように努めています。</p>	
26	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>ご家族とゆっくり話しをする場として、2階を活用しています。今までの経過や現在困っている事、不安な事、要望などをお聞きすることにより必要なサービスの検討をしています。</p>	
27	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>事前に連絡をされて見学に来られる方、直接施設を見学に来られる方と様々ですが、お話をする中でグループホームにこだわることなく、その方がどのようなサービスを希望されているのかを見極めています。</p>	
28	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気にならぬよう徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居前に体験入居を行っており、体験入居中の状況をご家族にお知らせし、説明させて頂いています。また、ご本人の自宅にある今まで使用していたベッドやタンスを入居の際持ってきて頂いています。</p>	
2.新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
29	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>一緒に生活をする場なので、入居者の生活の知恵を教えて頂きながら過ごしています。又会話をすることで一緒に笑ったり、不安な気持ちが取り除けるように努めています。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	随時ご家族にはご本人の状況報告を行っており、その中でご家族の心情についてもお聞きしながら、今後の支援に取り組めるように努めています。		
31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるよう支援している	ご家族を苑の行事にお誘いして、利用者と一緒に楽しく過ごして頂ける時間が出来るように努めています。ご家族から外出、外泊の願いをされ、実際外泊等される利用者もおります		今後も、苑の行事にご家族をお誘いしたり、外出、外泊等も継続出来るように支援していきます。
32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう支援に努めている	月命日や入居前におられた地域の行事に参加されている方もおられます。		
33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わら合い、支え合えるように努めている	家事手伝い等は、利用者同士で、お互いの出来る事を理解されており、協力し合いながらされています。リビングで皆様とお話しをされる事もありますが、居室前に椅子を置いてある所があるので、そこでゆっくり話しをされる事もあります。		
34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	サービス利用終了と言うものではありませんが、今後終了した場合は、終了後も関係性を大切にしていきたいと考えています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1.一人ひとりの把握			
35	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居者と一緒に過ごす中で、希望や意向の把握に努めています。</p>	
36	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入居前の事前訪問で、情報提供をして頂き、入居者の生活歴などの把握に努めていますが、入居後も入居者、ご家族と話をし、より深く知る事が出来るように努めています。</p>	
37	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>入居されて長い方が多い為、1日の生活リズムを把握しており、その中でできる事はして頂いています。心身状態の変化が見られた時は、状況の把握に努め、職員間で連携を図っています。</p>	
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
38	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>ご本人、ご家族の要望を聞き、アセスメントシート、ケアプランの作成をしています。作成の途中、他職員に意見を聞いた後、作成後全職員に目を通してもらい、ご本人、ご家族、全職員に説明し、追加、修正等がある場合は、書き加えています。</p>	
39	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>ケアプランの見直しを行っており、対応方法を検討する必要がある場合は、ミーティングで討議を行っています。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子などを個人の記録に記入し、勤務前に記録を読むようにしています。申し送りの際、報告・伝達事項を職員間で共有するようにしています。ケアプランの見直しに繋がっています。		
3.多機能性を活かした柔軟な支援				
41	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	病院受診の際、ご家族にお願いしますが、都合が悪い時は職員が付き添いを行っています。		
4.本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	運営推進会議、避難訓練時などに地域の方、行政の方などと情報交換を行っています。		
43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	現在、訪問理美容を活用させて頂いています。		
44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議時に、地域の方・民生委員・包括支援センターの方をお誘いし、参加して頂いています。成年後見制度が必要な入居者には利用して頂けるように支援しています。		
45	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	毎週木曜日に主治医により定期往診を受けられています。ご本人、ご家族の要望により他科受診をされている方もおります。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
46 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	近隣に認知症専門病院がありますので、主治医の指示の元、必要に応じて受診します。		
47 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	昼夜を問わず常に看護師、主治医に連絡が取れる体制が出来ているので、容態急変時はすぐに報告し、指示を受けて対応しています。		
48 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院された時は、面会に行きその際に病院側と情報交換を行っています。その際にご家族ともお話しをしますので、できるだけ早い退院に向け検討を行っています。		
49 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	「看取り介護についての同意書」をご家族の方に書いて頂いています。日々の状況に関しては、ご家族に随時報告をしており、主治医もご家族に説明の必要があれば行って下さる為、良い生活が送れるように努めています。		
50 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	現在、ターミナルケアの方はいませんが、身体状況の変化が見られた時、ご家族に報告を行っています。その際、ターミナルケアについての話をすることがあります。医療機関と連携を図りながら穏やかに過ごせる環境であるように話をしています。		
51 住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	身体状況の変化、性格、生活リズムの情報提供を行い、職員間で情報の共有をしています		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1.その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
52	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>トイレの声掛けなどは、他の方に聞かれないように、さりげなく行っています。ご家族が面会に来られた際に近況などをお話する事がありますが、他の方に聞こえないように配慮しています。</p>	
53	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたりわかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたい納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>「何を食べたい」「どこに行きたい」などは、日々一緒に過ごす中で尋ね、出来る限り要望通りに行えるようにしています</p>	
54	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>1日の時間の流れ(朝食、昼食、夕食時間)はありますが、朝早く起きられる方、体調不良の方などがおられる時は、その方状況に合わせて時間をずらすなど、お一人お一人に合わせた過ごし方が出来るように支援をしています。</p>	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
55	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>起床時、ご自分でどの洋服を着るのかを決めてもらっています。衣類の選定が難しい方は、一緒に考えながら衣類を決めています。また、訪問理美容を頼んでおり、その際も、ご自分でどのくらい髪を切られるなど言われています。</p>	
56	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>何を食べたいか尋ねてメニューを決めて、調理に参加して頂いたり盛り付け、食器の片付けなど個々に合った、出来る事をして頂いています。</p>	
57	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>飲みたい物・食べたい物を尋ねて、おやつ、ティータイムの時間を楽しく過ごして頂いています。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
58	気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	一人一人の排泄パターンに合わせて支援を行う為、排泄記録表を使用しています。スタッフ間でしっかり活用して、連携が図れるように支援しています。		
59	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日入浴を希望される方がいるので、入浴して頂いています。また、入浴希望時間を言われる方がいるので、その方の良い時間にて対応もしています。		
60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	日中を活動的に過ごして頂く為、個々の能力に合わせて支援しています。夕食後は、皆さんでゆっくりして頂き、安眠できるように支援しています。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
61	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事作り掃除・洗濯などの家事を一緒に行っています。利用者間で役割分担が出来ており協力的にされています。		
62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	大きい金額は苑で保管していますが、お小遣いを小額手元に持たれている方もいます。買い物などに行かれ際、ご自分で支払いをされる方もあります。		
63	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩を希望される方がいますので、その時は職員が付き添っています。散歩が困難な方には車椅子を使用しています。買い物などに行き際、お誘いし出かけています。		
64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり支援している	ご本人と話をし、希望される所に行けるよう個別サービスを行っています。ご家族と一緒に自宅に帰られたり、墓参りに行かれる方もいます。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族に連絡をしたいと希望される時は電話をして頂いてます。また、ご本人宛にプレゼントなどがご家族から贈られてくるので、届いた事を連絡しています。		
66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	リビングで一緒に過ごされたり、ご本人の居室にて過ごされたり、散歩等に行かれたりされています。		
(4)安心と安全を支える支援				
67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に関して理解しています。入居者の安全面に配慮しながら身体拘束をしないケアに取り組んでいます。現在、弊社で身体拘束廃止委員会を設置し、身体拘束について話し合う場を設けています。		
68	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	早出の職員が出社してから、遅出の職員が帰るまでの間、玄関の鍵はかけていません。天気の良い日は、玄関を開けて網戸にしており、居室の窓も同様です。		
69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中リビングで過ごされる事が多い為、職員が必ずリビングに1名いるように連携を取っています。夜間は1名なので巡視を行ったり、入居者の状況にすぐ気付けるようにリビング、詰所のどちらかにいるようにしています。		
70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	入居者の状況を見ながら、包丁を使用しています。包丁の本数確認は常に行い、使用しない時は目の届かない所に保管し、裁縫道具は詰所で保管しているので、必要に応じて使用しています。		
71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ミーティングで生活上のリスク、事故の再発防止策を話し合っており、検討しています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	定期的に応急手当についての講習などに参加し、勉強しています。		7月 25日に医療担当者等で救命講習を行います。
73	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練を行い、避難方法を検討しています。		9月に地域の方達と一緒に避難訓練を行う予定です。
74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	面会時、毎月送らせて頂いている「ふれあい通信」により、ご家族に日々の状況を報告しています。必要に応じて電話などでお話しています。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	週に1回定期往診を受けているので、体調の変化が見られた時は、速やかに主治医に連絡し、指示をもらい対応しています。主治医の指示により病院受診をする場合もありますが、受診後その結果を再度主治医に報告し、職員にも伝えていきます。		
76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬局から薬の指導や薬情報表をもらっており、職員は必ず目を通しています。臨時薬や変更があった際は個人カルテと伝達ノートに記載し、職員全員が把握できるようにしています。		
77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	毎日乳製品を飲んで頂いています。便秘がちな方もおられるので、食物繊維の多い物を調理してお出ししています。本人の状態に合わせて散歩などを促し、腹部マッサージ等も行っています。下剤を服薬されている方もいるので日々の排便状況を確認しながら医師の指示の元薬を調整しています。		
78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、口腔ケアを行っています。義歯を使用されている方は、夜間外して頂き、洗浄剤につけています。週に1回歯科往診を受けており、病気などの早期発見に努めており、治療が必要な場合は往診治療を受けています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
79	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	その方に合わせて食事量の調整を行い、毎回摂取量を記録に残し確認しています。こまめに水分摂取をして頂いています。		
80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	外部より感染症の研修に来て頂き講習を受けています。うがい、手洗いをし頂き、使い捨ての紙で拭いてもらっています。年に1回入居者、職員全員インフルエンザの予防接種を受けています。		
81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	まな板の消毒、台所の掃除は毎日行っています。ふきんや台拭きの消毒、冷蔵庫を定期的に掃除していますので、調理前に賞味期限の確認し、メニューを考えて皆さんへバランスのよい食事を提供できるように努めています		
2.その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	以前からあった民家を改修し、グループホームとして活用しており、庭には花などを植えています。玄関には入居者が書かれた書道などの作品を飾っています。		
83	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	周囲の環境は静かで、不快な音が出ないように配慮し、日差しが強い時はカーテンをし、適度な明るさに調整しています。リビングや玄関には庭で咲いた花を飾っています。		
84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファや椅子などを設置しており、好きな時間に入居者同士で話しをされたり、好きなテレビを観られたりされています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
85	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族が来られた際、居室でゆっくり話されたりリビングで他の入居者を交えお話をしてお過ごされています。		
86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	毎日居室、リビング掃除の時に換気を行っています。定期的に換気を行い、温度計を設置し調節をしています。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下・浴室・トイレなどに手すりを設置しており、必要に応じて使用しています。		
88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	トイレには張り紙をして分かりやすいようにしています。居室のドアは皆さん同じなので、ドア横にネームプレートを置き居室が分かるようにしています。		
89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり活動できるよう活かしている	苑の中庭にて花の植え替えや野菜を育てたりしています。花を見に庭へ行かれたり、玄関先に椅子を設置しているので、お誘いした時は使用しています。		天気の良い日は、苑中庭にて入居者・職員と皆でおやつを食べたりしています。

.サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の 2/3 くらいの	
		利用者の 1/3 くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に 1 回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
96	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の 2/3 くらいと	
		家族の 1/3 くらいと	
		ほとんどできていない	

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くない	
100	職員は、生き活きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の 2/3 くらいが	
		職員の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の 2/3 くらいが	
		家族等の 1/3 くらいが	
		ほとんどできていない	

【時に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)